

仍執啓如件、

三月十四日

左中辨時光

謹上 三寶院僧正御房

○北朝、香莊ヲ同社ニ寄スルコト、正月二十八日ノ條ニ、尊氏竝ニ義詮、同莊ヲ三寶院光濟ニ安堵セシムルコト、二月十一日ノ條ニ見ユ、

十六日、甲寅北朝、右兵衛督綾小路敦有ヲ罷ム、

〔公卿補任〕三十 非參議從三位源敦有 右兵衛督三月十六日止卿、督歟

十七日、乙卯近江守護佐々木氏賴、高山某、儀俄某ヲ京都ニ殺ス、

〔愚管記〕四 三月十七日、今朝武士群動云々、相尋子細之處、江州守護判官

年來ノ凶徒

内々武命ニ依ル

世聞如此、

〔常樂記〕 三月、高山近江守、應蟻我舍弟於京都被討了、

二十日、戊午幕府射場始、

〔御的日記〕 延文三年三月廿日、

南朝正平十三年 北朝延文三年三月十六日 十七日 二十日